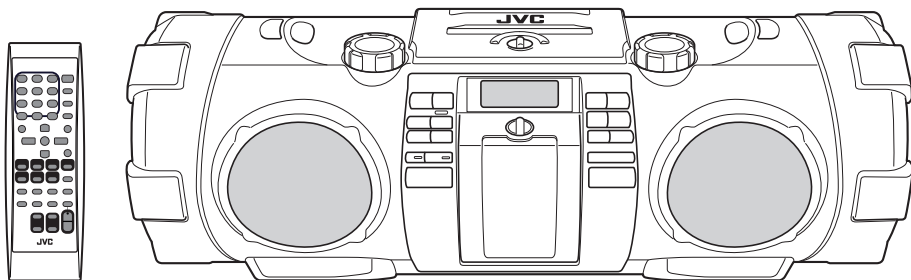
取扱説明書

パワードウーハーCDシステム

型名 RV-NB90-B

MP3/WMA

Bluetooth®

お買い上げありがとうございます

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www3.jvckenwood.com/reg/

LVT2347-001A

はじめに

オートパワーセーブ(節電機能)について

本機には、消音状態などが30分間続くと自動で電源が切れる「オートパワーセーブ機能」があり、お買い上げ時には有効になっています。詳しくは11ページの「オートパワーセーブ」をご覧ください。

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って説明しています。本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含みます。iPhoneとiPod touchを指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。
- 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」、「フォルダ」と「グループ」は同じ意味で使っています。

本機のご使用上の注意

- フロントドアは、開けたままにしないでください。
- フロントドアが開いているときに、フロントドアに下へ押し付けるような力を加えないでください。本機が転倒してけがの原因となります。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

正面

側面

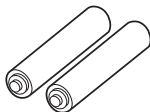
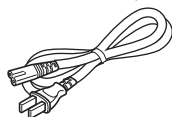
もくじ

準備をする

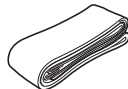
付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

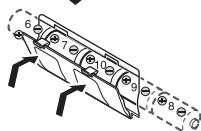
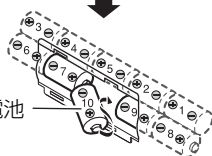
リモコン
RM-SRVNB90
(1個)

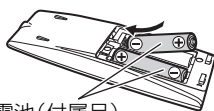
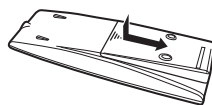
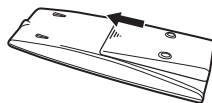
単3形乾電池(2本)

AC電源コード(1本)

ストッパー(2個)

バックル(2個)

ショルダーベルト(1本)

電池を入れる

本体

- 電池の+と−の向きを正しく入れてください。

リモコン

- 電池の+と−の向きを正しく入れてください。

- リモコンを操作しても本機が反応しないときは、新しい電池と交換してください。

お知らせ

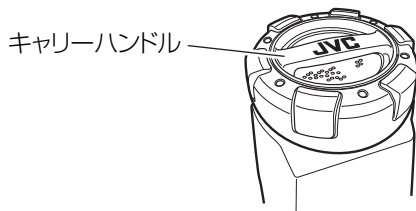
- 本機をAC電源につないでいるときは、電池からは電源供給されません。
- 本機を連続して操作したり、寒い場所で操作すると、電池の消耗が早くなります。
- 本機を乾電池で使用しているときは、⏻/I ボタンを押して本機の電源を切っても、表示窓には何も表示されません。また、スタンバイランプも点灯しません。

ご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。

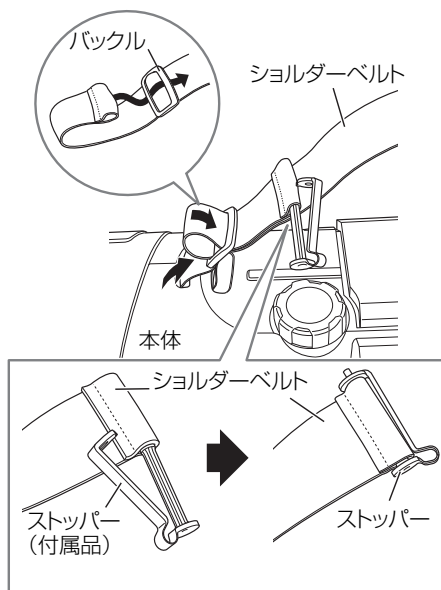
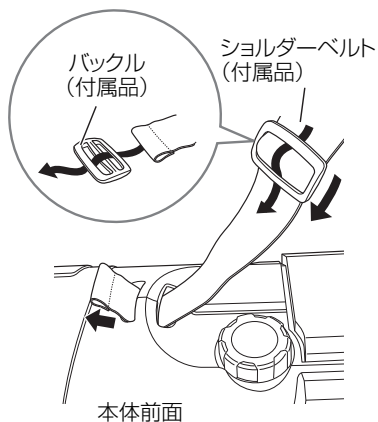
本機を持ち運ぶ

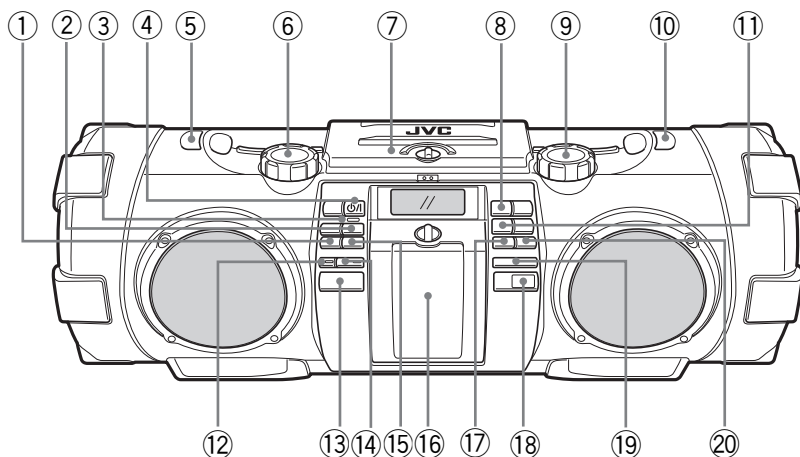
キャリーハンドルを使う

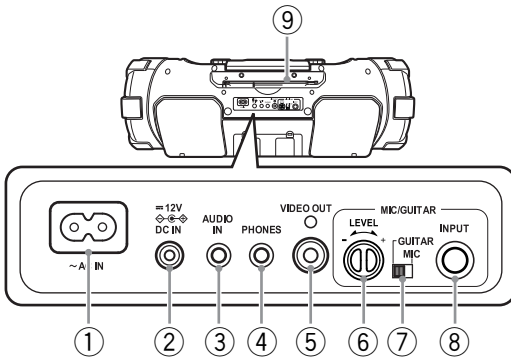
持ち運ぶときは、必ず両方のハンドルを持ってください。
一方のハンドルのみを持って運ぶと、もう一端を引きずるなどして、本機の破損の原因となります。

お知らせ

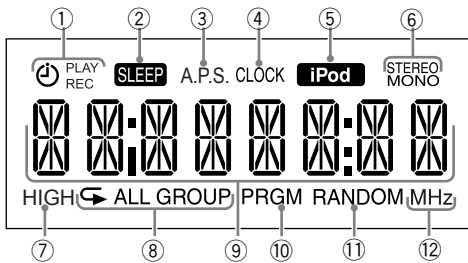
- 持ち運ぶときは、CDを取り出し、USB機器とiPodを取りはずしてください。
- 持ち運ぶときは、すべての接続コードをはずしてください。
- 本機は防水･防塵仕様ではありません。

ショルダーベルトを使う

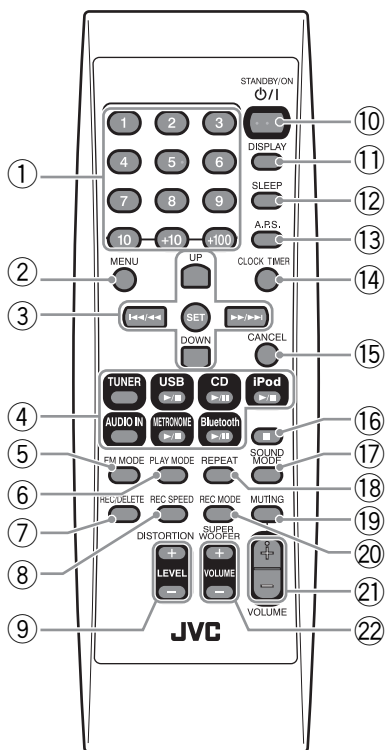
付属のショルダーベルトを図のように本機に取り付けます。

各部の名称

本体前面

① TUNER/AUDIO INボタン
② USB ▶/❚❚ボタン
③ STANDBYランプ
④ STANDBY/ON ⏻/I ボタン(電源ボタン)
⑤ ショルダーベルト用ホール
⑥ SUPER WOOFER VOLUME +/– DISTORTION LEVEL +/–
⑦ CD ドア
⑧ iPod ▶/❚❚ボタン
⑨ VOLUME +/–
⑩ ショルダーベルト用ホール
⑪ CD ▶/❚❚ボタン
⑫ RECボタン/RECインジケーター
⑬ USB接続端子とカバー
⑭ Bluetooth PAIRING ボタン/Bluetooth インジケーター
⑮ METRONOME▶/❚❚ボタン
⑯ iPod接続部/フロントドア
⑰ ⏮/TEMPO–ボタン
⑱ リモコン受光部
⑲ ■ボタン
⑳ ⏭/TEMPO+ボタン

本体背面

① AC IN端子
② DC IN端子
③ AUDIO IN端子
④ PHONES端子
⑤ VIDEO OUT端子
⑥ LEVEL +/−調節つまみ
⑦ GUITAR/MICセレクタースイッチ
⑧ INPUT端子
⑨ FMロッドアンテナ

表示窓

① タイマー表示
  • ⏻（タイマー）、PLAY、REC
② SLEEP表示
③ A.P.S.（オートパワーセーブ）表示
④ CLOCK表示
⑤ iPod表示
⑥ FMモード表示
  STEREO、MONO
⑦ HIGH表示
⑧ リピート表示
  ⮎、⮎ ALL、
  ⮎ GROUP
⑨ メインディスプレイ
⑩ PRGM（プログラム）表示
⑪ RANDOM表示
⑫ MHz表示

各部の名称（つづき）

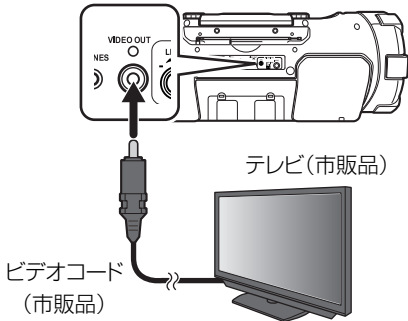
リモコン

① 数字ボタン(12、13ページ)
② MENUボタン(17ページ)
③ マルチコントロールボタン(12〜20、23〜26ページ)
- UP、DOWN
- ⏮/◀◀、SET、▶▶/⏭

④ 各ソースボタン(12〜20、23〜24ページ)
- TUNER、USB▶/❚❚、CD▶/❚❚、iPod▶/❚❚、AUDIO IN、METRONOME▶/❚❚、Bluetooth▶/❚❚

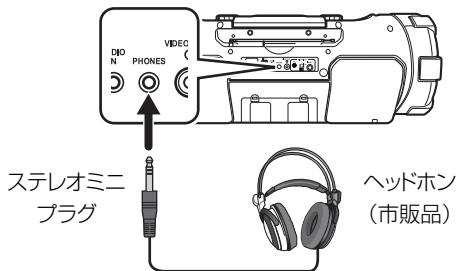
⑤ FM MODEボタン(12ページ)
⑥ PLAY MODEボタン(15、17ページ)
⑦ REC/DELETEボタン(23〜24ページ)
⑧ REC SPEEDボタン(23ページ)
⑨ DISTORTION LEVEL +/−ボタン(22ページ)
⑩ STANDBY/ON⏻/I ボタン(10ページ)(電源ボタン)
⑪ DISPLAYボタン(10、11ページ)
⑫ SLEEPボタン(25ページ)
⑬ A.P.S.(オートパワーセーブ)ボタン(11ページ)
⑭ CLOCK/TIMERボタン(10、25、26ページ)
⑮ CANCELボタン(14、25、26ページ)
⑯ ■ボタン(13、20〜24ページ)
⑰ SOUND MODEボタン(11ページ)
⑱ REPEAT ボタン(15、17ページ)
⑲ MUTINGボタン(11ページ)
⑳ REC MODEボタン(24ページ)
㉑ VOLUME +/−ボタン(10ページ)
㉒ SUPER WOOFER VOLUME +/−ボタン(10ページ)

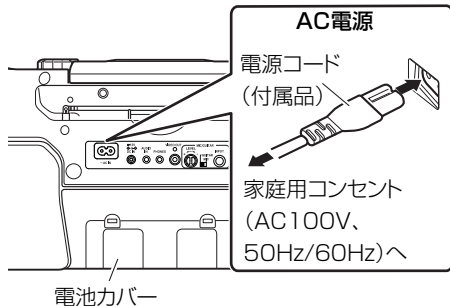
接続のしかた

テレビをつなぐ

iPodの映像をテレビで見るときにビデオコードで接続します。（17ページをご覧ください。）

ヘッドホンをつなぐ

ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

電源コードをつなぐ

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

乾電池を使用しているときは、
AC電源コードを抜いてください。

お知らせ

- 乾電池から電源を供給することもできます。（4ページをご覧ください。）
- STANDBY/ON⏻/I ボタンを押して本機の電源を切った場合（スタンバイ状態）、STANDBYランプが赤く点灯します。
- 電源が切れているとき（スタンバイ状態）にも、少量の電力を消費します。

ご注意

- AC電源を使用するときは、乾電池を取り出してください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を入れる

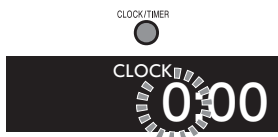
STANDBY/ON⏻/Iを押す

STANDBYランプが消灯します。
もう一度押すと、電源が切れます。

お知らせ

本機を乾電池で使用しているときは、本体の⏻/Iボタンまたは各ソース（音源）のボタンを押して電源を入れてください。リモコンでは電源を入れることはできません。

時計を合わせる

1 CLOCK/TIMERをくり返し押し*、時計を表示させる

* 初めて時計を合わせるときは、1回押せば時計表示になります。

2 UP または DOWN を押して「時」を合わせる

- 押しつづけると、連続して変わります。

3 SETを押す

4 手順**2**と**3**をくり返して「分」を合わせる

- 「分」を合わせている間に「時」の設定に戻るには、CANCELを押します。

時計を表示する

DISPLAYを押す

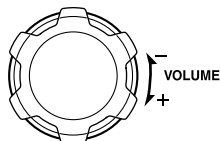
- 押すごとに時計表示とソース（音源）の表示が切り換わります。

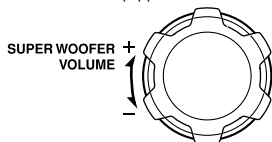
お知らせ

- AC電源コードを抜くと、約2時間で時計の設定は消去されます。
- 本機を電池で使っているときは、本機の電源が入っているときのみ時計が表示されます。

各ソース（音源）に共通の使いかた

音量を調節する

調節範囲:　MIN, 1～29, MAX

スーパーウーハー（重低音）の音量を調節する

調節範囲:　BASS 1～BASS 6

お知らせ

- 前に本体でディストーション（22ページ）をかける操作をした場合は、■を2秒以上押しつづけて、スーパーウーハー調整に切り替えてください。

一時的に消音する

MUTINGを押す

- もう一度押すか、音量を調節すると元の音量に戻ります。

サウンドモード

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。

SOUND MODEをくり返し押す

押すごとにサウンドモードが切り替わります。

BEAT:　重低音を強調したいときに選びます。
POP:　軽快な音楽を楽しみたいときに選びます。
CLEAR:　躍動感のある音楽を楽しみたいときに選びます。
FLAT:　サウンドモードをキャンセルします。

お知らせ

- サウンドモードはヘッドホンからの音声にも効果があります。

オートパワーセーブ

A.P.S.を押すごとにオンとオフが切り替わります。
お買い上げ時にはオンに設定されています。

A.P.S.

オートパワーセーブがオンのとき、以下のような状態で30分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。
また、本機の電源が切れる前に、「A.P.S.」表示が点滅します。

- 音量が「MIN」のとき、または消音しているとき
- ソース(音源)が「CD」、「USB」または「メトロノーム」で、再生を停止していて、マイクまたはギターが接続されていないとき
- ソース(音源)が「iPod」、「Bluetooth」、または「USB」で、対象の機器およびマイクまたはギターが接続されていないとき

表示窓の設定

押すごとに表示される情報が変わります。
ソース(音源)によって表示される内容は異なります。

FM ラジオを聞く

FM放送を聞く

1 TUNERを押して「FM」を選ぶ

リモコン

本体

TUNER
AUDIO IN

（くり返し押す）

FM 76.0 MHz

2 放送局を選ぶ

・押しつづけると、本機が自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

アンテナを調節する

最もよく受信できるように、FMアンテナの長さ、角度および方向を調節してください。

放送局を記憶させる（プリセット）

最大30局までのFM放送局を記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 SETを押す

3 数字ボタンを押して記憶させたい番号を選ぶ

4 SETを押す

記憶した放送局を呼び出す

くり返し押して、プリセット番号（1～30）を選びます。

・リモコンの数字ボタンを押しても選べます。

FMモードを切り替える

FMステレオ放送が聞きにくいときは、モノラル受信（MONO）にすると聞きやすくなります。

FMモードを押す

・ステレオ受信に戻すには、もう一度押してください。

CD/USB を聞く

CDまたはUSB機器を準備する

ディスクの挿入またはUSB機器の接続を行います。

CD

USB機器

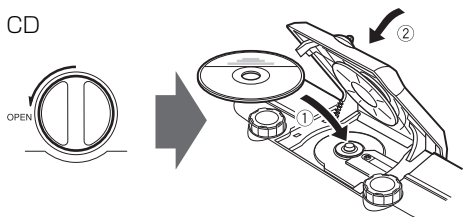
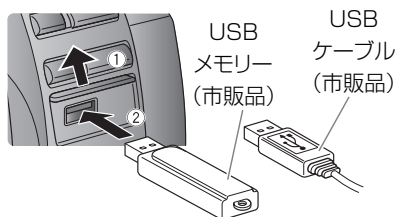
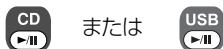
再生する

CD ▶/II またはUSB ▶/II を押す

 または

再生中の表示

10　0:45

曲番号　再生経過時間

再生を停止するには

■ を押す

一時停止するには

CD ▶/II または USB ▶/II を押す

- もう一度押すと、再生します。中断したところから再生が始まります。

曲を選ぶには

|◀◀/◀◀ または ▶▶/▶▶| を押す

|◀◀/◀◀　▶▶/▶▶|

- 次の曲に移動するには、▶▶/▶▶| を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、|◀◀/◀◀ を押します。
  続けて2回押すと、前の曲に移動します。

リモコンで曲番号を選ぶには

例:

- 5番を選ぶには、5を押す。
- 15番を選ぶには、+10を押して5を押す。
- 20番を選ぶには、+10を押して10を押す。
- 125番を選ぶには、+100、+10、+10を押して5を押す。

早送り/早戻しするには

再生中に |◀◀/◀◀ または ▶▶/▶▶| を押しつづける

CD/USB を聞く（つづき）

グループを選ぶには（MP3/WMAのみ）

UPまたはDOWNを押す

- UP:次のグループを選びます。
- DOWN:前のグループを選びます。

お知らせ

- ■を押してWMA/MP3ファイルの再生を停止した後、▶/❚❚を押して再生を再開すると、停止したときの曲が最初から再生されます（RESUME（リジューム）再生）。
- 停止中にもう一度■を押すと、RESUME再生をキャンセルして1曲目から再生されます。
- 以下の場合にもRESUME再生はキャンセルされます。
  - プログラム再生中
  - CDドアを開けたとき
  - ソースを切り替えたとき

プログラム再生

CDまたはUSB機器の曲を、32曲までお好みの順で再生します。

お知らせ

- プログラムを登録するときは、グループ番号で曲を探すことはできません。

1 **CD ▶/❚❚ または USB ▶/❚❚ を押す**

2 **■を押して再生を停止する**

3 **PLAY MODEを押す**

4 **数字ボタンを押して登録したい曲を選ぶ**

5 **SETを押す**

6 **手順4、5をくり返して、他の曲を登録する**

7 **CD ▶/❚❚ または USB ▶/❚❚ を押す**

プログラム再生が始まります。

プログラム内容を確認するには

プログラム再生が停止中にUPまたはDOWNをくり返し押す

登録した曲が順に表示されます。

- 数字ボタンを押してSETを押すと、プログラムの最後に曲を追加することができます。

登録した曲を削除するには

プログラム再生が停止中にCANCELを押す

- 押すごとにプログラムの最後の曲が削除されます。
- 次の場合には、プログラムは消去されます。
  - 電源を切ったとき
  - CDドアを開けたとき
  - USB機器を取り外したとき
  - ソースを切り替えたとき
  - プログラムモードを解除したとき

プログラム再生をやめるには

停止中にPLAY MODEを押す

PRGM表示が消えます。

ランダム再生

CDまたはUSB機器の曲をランダム（無作為）な順序で再生します。

再生中にPLAY MODEを押して「RANDOM」を選ぶ

10 0:45
RANDOM

- ランダム再生中に⏮/◀◀をくり返し押しても、前の曲に戻ることはできません。

ランダム再生をやめるには

ランダム再生中にPLAY MODEを押す

RANDOM表示が消えます。

- 再生を停止したときも、ランダム再生は解除されます。

リピート再生

CDまたはUSB機器の聞きたい曲をくり返し再生します。

REPEATを押す

押すごとに、リピートの種類が切り換わります。

お知らせ

- ランダム再生中に押すと、ランダム再生は解除されます。

CDのとき:

⮌ ➡ ⮌ALL ➡ 取り消し ➡ (最初に戻る)

- ⮌: 現在の曲をくり返します。
- ⮌ALL: CDのすべての曲をくり返します。

MP3/WMAファイルのとき:

⮌ ➡ ⮌GROUP ➡ ⮌ALL ➡ 取り消し ➡ (最初に戻る)

- ⮌: 現在の曲をくり返します。
- ⮌GROUP: グループの曲をくり返します。
- ⮌ALL: CDまたはUSB機器のすべての曲をくり返します。

お知らせ

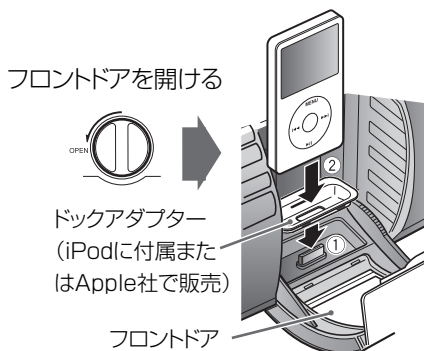
- プログラム再生中は⮌、⮌ALLのみ選べます。

iPod を聞く

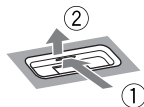
iPodを本機に接続して、本機から操作できます。
29ページのiPod対応表をご覧ください。

ご注意

- iPodを抜き差しするときは、あらかじめ本機の電源を切ってください。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損するおそれがあります。
- 本機の電源が入っている間、iPodは充電されます。（電池で動作しているときは、ソースにiPodを選択している間のみ充電されます。）
- iPodの種類により、動作が異なることがあります。
- 一部のiPodでは、メニュー画面の操作を行なうときは、iPodで操作してください。
- iPhoneまたはiPod touchの接続中に次の操作を行なうときは、iPhoneやiPod touchで操作します。
    - ホームボタンを押す
    - ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ
    - スライダーをドラッグする
- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。
- iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPod用カバーやアクセサリーを装着している場合は、はずしてから接続してください。
- iPodはしっかりと差し込んでください。
- iPodは、まっすぐ抜き差ししてください。
- 本機のコネクター部分に直接さわったり、物を当てたりしないでください。　破損の原因になります。
- 本機からiPodに録音することはできません。

iPodを接続する

お知らせ

- iPodの機種（iPod nano 第6世代など）によってはドックアダプターが不要な場合もあります。

ドックアダプターの取りはずしかた

指の爪や先の細いものをスロット部にかけてドックアダプターを引き上げてください。
その際には、爪を傷つけたり、ドックの端子を破損しないように気をつけてください。

再生する

iPod ►/❚❚ を押す

押すごとに再生と一時停止が切り替わります。

iPod iPod

曲を選ぶには

⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ を押す

- 次の曲に移動するには、▶▶/⏭ を押します。
- 再生している曲の最初に移動するには、⏮/◀◀ を押します。
  続けて2回押すと、前の曲に移動します。

早送り/早戻しするには

再生中に ⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ を押しつづけます。

シャッフル再生

ランダム(無作為)な順序で曲が再生されます。

PLAYMODEを押す

押すごとにオンとオフが切り替わります。

リピート(くり返し)再生

REPEATを押す

押すごとに、リピート再生のモードが切り替わります。

リピート再生をやめるには

リピート再生がキャンセルされるまでREPEATをくり返し押す

iPodのメニューを操作する

1 MENUを押して、メニューを表示する

押すごとに、1つ前のメニューに戻ります。

2 UPまたはDOWNを押して項目を選ぶ

3 SETを押す

iPodの映像出力を設定する

本機の電源が切れているときに、本体のiPod ►/❚❚ を押しつづける(長押し)

本体

►/❚❚ iPod

VOUT OFF

表示中に(短く)押すごとに、表示が以下のように変わります。

- VOUT ON: iPodの映像を接続したテレビで見ます。
- VOUT OFF: iPodの映像をiPodで見ます。

お知らせ

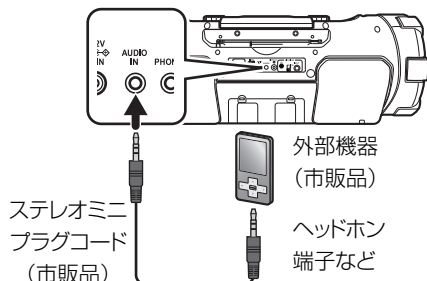
- リモコンでは操作できません。
- 本機を乾電池で使用しているときは切り替えできません。

外部機器を聞く

外部機器から再生する

1 **本機の音量を最小にする**

2 **外部機器を接続する**

お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

3 **AUDIO INを押して「AUDIO IN」を選ぶ**

（くり返し押す）

4 **外部機器の再生を始める**

5 **本機と外部機器の音量を調節する**

音声入力レベルを調節する

AUDIO IN端子に接続した外部機器の音量が他のソース（音源）に比べて小さすぎる場合は、入力レベルを調節してください。

ソース（音源）が「AUDIO IN」のとき、SETを押す

押すごとに、入力レベルが次のように切り換わります。

LEVEL1 ➡ LEVEL2 ➡ LEVEL3 ➡ (最初に戻る)

数字が大きくなるほど入力レベルが上がり、音量が大きくなります。

お買い上げ時はLEVEL3になっています。

メトロノームを使う

メトロノーム機能を使う

本機をメトロノームとして使うことができます。テンポと拍子が個別に変更でき、楽器の練習などに使用できます。

1 **METRONOME ►/II を押す**

スピーカーから一定のリズムの電子音が鳴ります。
押すたびに音が鳴る/止まるが切り替わります。
■を押しても止めることができます。

2 **|◄◄/◄◄ または ►►/►►|でテンポを選ぶ**

・30から250まで選べます。

T120 B4

テンポ　拍子

3 **UP または DOWN で拍子を選ぶ**

・1～7拍子を選べます。

Bluetooth 機器を聞く

お手持ちのBluetooth機器からの音を本機で聞くことができます。

お知らせ

- この機能をお使いになるには、Bluetooth機器がAVRCPとA2DPのプロファイルに対応している必要があります。
- Bluetooth機器によっては、本機と接続できない場合があります。

初めて接続する

1 本機の電源を入れる

2 Bluetooth▶/IIを押す

- 「CONNECT」が点滅中は、電源を切る以外の操作はできません。

3 相手機器でペアリング(登録)操作をする

相手機器の取扱説明書もご覧ください。
見つかった機器のリストから「RV-NB90」(本機)を選びます。
ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。
ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

B T

4 相手機器を再生する

相手機器の再生音が本機から出ます。自動的に再生が始まる場合もあります。

お知らせ

- ペアリングは初回のみ必要です。

*1 2回目以降接続するときは、「CONNECT」が点滅中に、本機と最後に接続したBluetooth機器のBluetooth機能をオンにするだけで再接続されます。他のBluetooth機器を再接続するには、「BT READY」表示中にBluetooth機器を操作して接続してください。

本機からBluetooth機器を操作する

動 作	操 作
再生／一時停止	Bluetooth ▶/II を押す。 押すごとに再生と一時停止が切り替わります。
停止	■を押す。
曲のスキップ	⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ を押す。
早送り／早戻し	⏮/◀◀ または ▶▶/⏭ を押し続ける。

他のBluetooth機器をペアリング(登録)する

1 Bluetoothを2秒間押し続ける

接続の解除が始まります。

DISCNECT

解除が完了すると、「BT READY」が表示されます。

2 相手機器でペアリング操作をする

お使いのBluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
見つかった機器のリストから「RV-NB90」を選びます。
ペアリング中にパスキーの入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。
ペアリングが完了し、Bluetooth機器が自動的に接続されます。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - 分解/改造すること
  - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4:2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH:FH-SS変調方式を表します。

1:電波与干渉距離は10mです。

■■■:全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

使用可能距離は見通し距離約10 mです。

鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

マイクやギターをつなぐ

マイクまたはギターをミキシングする

マイクまたはギターを接続して、再生音とマイクまたはギターの音声をミキシングできます。

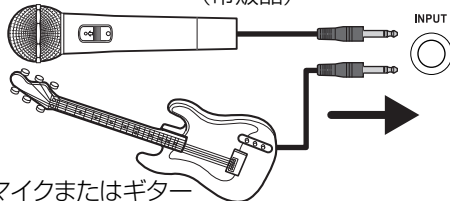
ご注意

MIC/GUITAR INPUT端子にはベースギターは接続しないでください。本機が破損するおそれがあります。

1 **マイク/ギターセレクターを設定する**

ギター　マイク

2 **マイク/ギターレベル調節つまみを左(－側)いっぱいに回す**

3 **マイクまたはギターをMIC/GUITAR INPUT端子に接続する**

4 **ミキシングするソース(音源)を再生する**

5 **マイク／ギターレベル調節つまみを回して、マイクまたはギターの音量を調節する**

ディストーションをかける

ギターにディストーションをかけることができます。
レベルは0(OFF)から8まで変更できます。

お知らせ

- アナログ回路を採用しているため、レベルを上げるとノイズが目立つようになりますが故障ではありません。

リモコンで操作するとき

DISTORTION LEVEL ＋または DISTORTION LEVEL －を押す

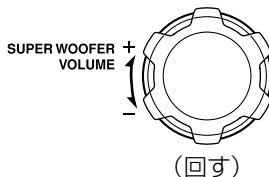
D LVL 1

本体で操作するとき

1 **■を押しつづけて、「D LVL」を選ぶ**

押しつづけるごとに、スーパーウーハー調整(「SW VOL」表示)とディストーション調整(「D LVL」表示)が切り替わります。

2

(回す)

USB 機器に録音する

お知らせ

おやすみタイマー(25ページ)動作中は録音できません。

CDを録音する

音楽CDからUSB機器へ、デジタル録音またはアナログ録音することができます。
一般的に、デジタル録音の方がアナログ録音よりも良い音で録音できます。
一方、アナログ録音時には、本機に接続したマイクやギターの音声を同時に録音できます(ミキシング録音)。用途に応じて使い分けてください。
録音する前に、USB機器をUSB MEMORY端子に接続してください。

お知らせ

- MP3やWMAファイルを記録したCD-Rなど、音楽CD以外のディスクからは録音できません。
- 録音中に本機の音量やサウンドモードを変えても、録音される音声には影響ありません。
- 録音時、CDのランダム再生やリピート再生はできません。
- ファイル形式はMP3(ビットレート: 192 kbps)で録音されます。
- 録音中に本機を揺らさないでください。録音が正常に行われない可能性があります。

CDをまるごと1枚録音する

1 **CD ▶/II を押す**

2 **■ を押して、再生を停止する**

3 **REC SPEEDを押して、CDからデジタル録音するときの速度を選ぶ**

押すごとに、等速(NORMAL)と2倍速(HIGH)が切り替わります。
音を聞きながら録音したいときは等速を選んでください。
- アナログ録音の場合は、常に等速になりますので、この手順はとばしてください。

4 **REC/DELETEを押す**

リモコン　　本体

REC

CDの全曲がデジタル録音されます。
- アナログ録音したい場合はREC/DELETEを押しつづけます。"ANLG REC"が点滅しているあいだにREC/DELETEを(短く)押すと録音を開始します。

RECSTART

録音中は本体のRECインジケーターが点灯します。

- MUSICフォルダの中のCDフォルダに、「CD001」などのフォルダーが自動的に作成され、録音ファイルが保存されます。
- 再生が終わると、録音も自動的に止まります。
- 途中で録音を止めたいときは ■ を押します。

その他の録音方法

- 停止中に ⏮/◀◀, ▶▶/⏭ で選曲し、その後RECを押すと、その曲から最後の曲までを録音します。
- 1曲だけ録音したいときは、その曲を再生中にREC/DELETEを押す(デジタル録音)か、押しつづけて(アナログ録音)ください。
- プログラムした曲順で録音したいときは、プログラム再生の停止中にREC/DELETEを押す(デジタル録音)か、押しつづけて(アナログ録音)ください。(14ページ)

USB 機器に録音する（つづき）

他のソースを録音する

FM放送や外部機器の音をUSB機器に録音することができます。
録音中はマーキングの設定によって、曲を分けることもできます。（下の「マーキングの設定をする」を参照）
本機に接続したマイクまたはギターの音声をいっしょに録音できます（ミキシング録音）。

- 録音ファイルは「MUSIC」フォルダ内のそれぞれのフォルダ（「FM」、「AUDIO IN」、「METRONOME」）に保存されます。
- 録音ファイルが2GB（約20時間）に達した場合、自動的に録音が停止します。

マーキングの設定をする

- 録音中に曲を区切って(マーキング)、ファイルを分ける作業を自動で行なうか、手動で行なうかを選ぶことができます。
- 録音を始める前に設定しておいてください。

ソースがTUNER（FM）、AUDIO INまたはMETRONOMEのときに、REC MODEを押す

押すごとに設定が切り換わります。

MANUAL	SETを押すごとに区切ります。
TIME	5分ごとに自動的に区切ります。

FM放送を録音する

1 TUNERを押す

2 録音する放送局を受信する

3 REC/DELETEを押す

リモコン　本体

REC

RECSTART

録音が始まります。
録音中は本体のRECインジケーターが点灯します。

4 ■ を押して、録音を止める

外部機器の音を録音する

1 AUDIO INを押す

録音する前に、外部機器をAUDIO IN端子に接続してください。

2 REC/DELETEを押す

録音が始まります。

3 外部機器を再生する

録音中は本体のRECインジケーターが点灯します。

4 ■ を押して、録音を止める

メトロノームを録音する

1 METRONOMEを押す

必要に応じてテンポとリズムを設定します。(→19ページ)

2 REC/DELETEを押す

録音が始まります。
録音中は本体のRECインジケーターが点灯します。

3 ■を押して、録音を止める

曲を削除する

- USB機器に録音されている曲を削除することができます。
- 削除した曲は元に戻すことができません。削除するときは、よく確認してください。

1 削除したい曲を再生する

2 REC/DELETEを押す

REC/DELETE

3 SETを押す

表示窓に「DELETE」と表示され、ファイル削除が始まります。
ファイル削除が終わると「FINISH」と表示されます。

タイマーを使う

おやすみタイマー

SLEEPをくり返し押す

SLEEP
SLEEP 10

押すごとに時間(単位:分)が次のように切り換わります。
10 ➡ 20 ➡ 30 ➡ 60 ➡ 90 ➡ 120 ➡ 150 ➡ 180 ➡ OFF ➡
(最初に戻る)

残り時間を確認するには、SLEEPを1回押します。

おやすみタイマーを解除するには、「OFF」が表示されるまでSLEEPをくり返し押します。

デイリータイマー

デイリータイマー(再生タイマー)を使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

お知らせ

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(10ページ)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。
- あらかじめ、聞きたいFM放送局をプリセットしておいてください。(12ページ)
- デイリータイマーは、本機を乾電池で使用しているときは働きません。AC電源でお使いください。

1 **CLOCK/TIMERをくり返し押し、「PLAY TMR」を表示させる**

2 **もう一度CLOCK/TIMERを押す**

3 **UP または DOWN を押して開始時刻の「時」を合わせる**

- 押しつづけると、連続して変わります。

4 **SETを押す**

5 **手順3と4を繰り返して、開始時刻の分、終了時刻の時･分、ソース、音量を設定する**

- ソースにFMを選んだときは、UPまたはDOWNを押してプリセット番号を選択し、SETを押します。
- ソースにCDまたはUSBを選んだときは、UPまたはDOWNを押してトラック番号を選択し、SETを押します。

6 **⏻/I を押して電源を切る**

- デイリータイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- デイリータイマーが設定されているときは、⏲PLAYが点灯します。
- デイリータイマーの作動中は、⏲PLAYが点滅します。
- デイリータイマーは、一度設定すれば、毎日同じ内容で作動します。
- 開始時間と終了時間に同じ時刻を設定することはできません。

タイマーを設定中にひとつ前の手順に戻るには、CANCELを押します。

デイリータイマーを解除するには、手順1をおこなったあとCANCELを押します。

一度解除したデイリータイマーを、前回と同じ内容でもう一度設定したいときは、手順1をおこなったあとSETを押します。

録音タイマー

FM放送や外部機器をタイマー録音することができます。

お知らせ

- あらかじめ時計を合わせておいてください。（10ページ）
- あらかじめ、録音したいFM放送局が受信できること、外部機器が正しく接続されていることを確かめておいてください。
- あらかじめ、録音したいFM放送局をプリセットしておいてください。（12ページ）
- あらかじめ、USB機器をUSB MEMORY端子に接続しておいてください。
- 録音タイマーは、本機を乾電池で使用しているときは働きません。AC電源でお使いください。

1　CLOCK/TIMERを押し、「REC TMR」を表示させる

2　もう一度CLOCK/TIMERを押す

3　UP または DOWN を押して開始時刻の「時」を合わせる

- 押しつづけると、連続して変わります。

4　SETを押す

5　手順3と4を繰り返して、開始時刻の分、終了時刻の時･分、ソース、音量を設定します。

- ソースにFMを選んだときは、UPまたはDOWNを押してプリセット番号を選択し、SETを押します。

6　⏻/I を押して電源を切る

- 録音タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 録音タイマーが設定されているときは、⏲ REC が点灯します。
- 録音タイマーの作動中は、⏲ REC が点滅します。
- 録音タイマーは、設定後1回だけ作動します。（終了後も設定内容は保存されています。）
- 開始時間と終了時間に同じ時刻を設定することはできません。

タイマーを設定中にひとつ前の手順に戻るには、CANCELを押します。

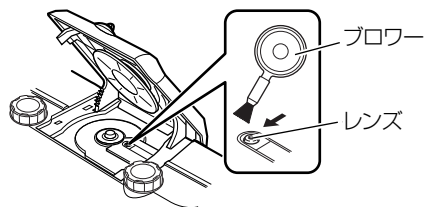
録音タイマーを解除するには、手順1をおこなったあとCANCELを押します。

同じ内容でもう一度設定したいときは、手順1をおこなったあとSETを押します。

お手入れについて

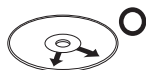
CDプレーヤーのレンズのお手入れ

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CDドアを開け、図のようにレンズを清掃してください。

- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使って、はき出してください。
- 市販のCDレンズクリーナー（乾式タイプ）をご利用願います。

CDの取り扱いとお手入れ

出すとき

入れるとき

- CDにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CDをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

再生・録音ファイルについて

再生できるCDとファイル

CD	音楽CD　CD-R　CD-RW COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable
ファイル	MP3/WMA

- CD規格(CD-DA)に準拠しないCDについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをお確かめください。
- CDの特性･記録状態･傷･汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ･結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CDの使用上のご注意をよくお読みください。
- CDテキストの表示には対応しておりません。

CD-R／CD-RWのご注意

お客様が編集したCD-R/CD-RWは、ファイナライズ処理されているCDに限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RWを作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。
  また、パケットライト方式(UDFフォーマット)は使用しないでください。
- MP3/WMAファイルの入ったCD-R/CD-RWは、通常の音楽CDよりも読み取りに時間がかかります。(フォルダやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

MP3/WMAファイルのご注意

- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたMP3/WMAファイルを再生できます。
  転送レート　MP3　: 32 kbps～ 320 kbps
  　　　　　　WMA : 32 kbps～ 320 kbps
  サンプリング周波数 : 32/44.1/48 kHz
- MP3/WMAファイルの再生順について(MP3/WMAファイルを含まないフォルダは無視されます。)
  - 再生時は、先に作成したグループから順番に再生します。グループ内では、録音した曲順で再生します。
  - パソコンを使ってフォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。
- 本機はCD1枚あたり最大99フォルダおよび999ファイルまで認識できます。また、USB機器1台あたり最大300フォルダおよび999ファイルまで認識できます。(MP3/WMAファイル)
- 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- 本機ではタグ情報は表示できません。

USB機器のご注意

- AC電源を使用しているとき、ソース(音源)が「USB」になっているときは、USB機器に電源供給および充電されます。
- USB機器は、停止状態で取り外してください。再生中または録音中に取り外すと、ファイルやUSB機器のファイルシステムが破損する恐れがあります。
- USB機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- USB機器の容量は4GB以下を推奨します。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USB機器の再生について
  - 接続するときは、USB機器の取扱説明書もご覧ください。
  - USBハブは使用しないでください。
  - 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
  - USB機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
  - 2ギガバイト以上のファイルは再生できません。
  - DRMファイルは再生できません。

iPodについて

・再生できるiPod

Made for (対応iPod)	音楽	ビデオ
iPod nano (第6世代)	○	○ *1
iPod nano (第5世代)	○	○
iPod nano (第4世代)	○	○
iPod nano (第3世代)	○	○
iPod nano (第2世代)	○	−
iPod touch (第4世代)	○	○
iPod touch (第3世代)	○	○
iPod touch (第2世代)	○	○
iPod touch*2	○	○
iPod classic	○	○
iPhone 4S	○	○
iPhone 4	○	○
iPhone 3GS	○	○
iPhone 3G	○	○

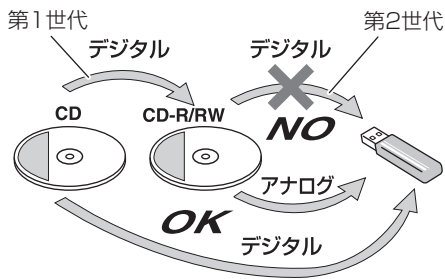
*1 静止画のみ
*2 ソフトウェアのバージョンが2.0.0以降のもののみに対応

・iPodが正しく再生されないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
・iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>
・iPodの最新の対応状況については、当社ホームページをご覧ください。

SCMS(Serial Copy Management System)(シリアル コピー マネージメント システム)

CDのクリアな音を他のデジタル機器(MD、メモリー、USBなど)にデジタル録音した場合、1度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS(シリアル·コピー·マネージメント·システム)といいます。シリアル·コピー·マネージメント·システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

・この規定により1度デジタル録音されたCDからは、USB機器へデジタル録音することはできません。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。私的録音補償金についてのお問い合わせ先社団法人　私的録音補償金管理協会
03−3261−3444(代)

困ったときは

当社ホームページ(http://www3.jvckenwood.com/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。

共通

電源が入らない。

➡電源コードの接続を確認してください。または、本体の電池を新しいものと交換してください。

突然電源が切れてしまう。

➡オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

➡操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

再生時の音がひずんだり、小さすぎる。

➡本体の電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

リモコンから本体を操作できない。

➡リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。

➡リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聞こえない。

➡音量が最小になっていませんか。

➡ヘッドホンが接続されていませんか。ヘッドホンをはずしてください。

CDプレーヤー/USB機器

再生できない。

➡CDが逆さまに入れられていませんか。ラベル面を上にして入れてください。

➡CDまたはレンズが汚れていませんか。CDまたはレンズを清掃してください。

➡「パケットライト方式(UFDフォーマット)」で録音されたCDは再生できません。再生したいファイルを確認してください。

➡USB機器は正しく接続されていますか。

MP3/WMAのグループやトラックが意図したように再生できない。

➡本機で録音したファイルのファイル名をPCで編集すると、順番が変わる場合があります。

CDやUSB機器からの音声が途切れる。

➡汚れや傷のあるCDは、清掃するか交換してください。

USB機器からの音声が遮られる。

➡本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

録音したファイルをCD-Rに焼きたい。

➡パソコンでの操作になりますので、お使いのパソコンのメーカーにご相談ください。

iPodの操作

iPodが再生できない。

➡お使いのiPodが本機で使えるか確認してください。(29ページ)

iPodの映像がテレビに正しく表示されない。

➡iPodの「TV信号」の設定を「NTSC」にしてください。

FMラジオの操作

雑音が多く放送が聞きづらい。

➡アンテナの向きは適切ですか。アンテナを調節してください。

タイマーの操作

デイリータイマーが作動しない。

➡電源が入ったままになっていませんか。デイリータイマーを作動させるには、電源を切ってください。

Bluetooth機器とつながらない。

➡お使いの機器はA2DPのプロファイルに対応していますか。音楽データをストリーミングデータとして送信するためにはA2DPに対応している必要があります。お使いの機器の説明書をご確認ください。

本機からBluetooth機器を操作できない。

➡お使いの機器はAVRCPのプロファイルに対応していますか。本機からBluetooth機器を操作するためにはAVRCPに対応している必要があります。お使いの機器の説明書をご確認ください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源コードをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。

商標

- Microsoft, Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- “Made for iPod”、“Made for iPhone”とは、それぞれiPod、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーをiPod、iPhoneで使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社JVCケンウッドは、これらの商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

サービス窓口案内

製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
東北			
青森	青森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
秋田	秋田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
岩手 宮城 山形	仙台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
福島	郡山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
群馬	前橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 JVCケンウッド前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉 茨城	千葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
神奈川	横浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 JVCケンウッド白山事業所1F
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
お客様サポートセンター		(045)939-7320	横浜市緑区白山一丁目16-2 JVCケンウッド白山事業所2F
東京	東東京S.C.	(03)6381-8400	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F
長野 山梨	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2967-3 JVCケンウッド八王子事業所A棟1F
東海・北陸			
静岡	静岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
愛知 岐阜 三重	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
石川 富山 福井	金沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
近畿			
京都 滋賀	京都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪 和歌山 奈良 兵庫	大阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
近畿エンジニアリングセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国・四国			
岡山	岡山S.S.	(086)243-1566	岡山市北区野田5丁目17-19
広島 山口 島根 鳥取 愛媛	広島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
香川 高知 徳島	高松S.S.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
九州・沖縄			
福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
	福岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F

(1011)

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※略号について　S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーションの略称です。

●出張修理のご依頼およびビクター製品についてのご相談窓口

出張修理のご依頼、お買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

窓口	フリーダイヤル	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。		
JVCケンウッド カスタマーサポートセンター	(0120)2727-87（フリーダイヤル）	(045)450-8950	〒221-0022	横浜市神奈川区守屋町3丁目12

（注）発信者番号通知が非通知でフリーダイヤルへおかけの場合は、はじめに『186』を付けて、『186-0120-2727-87』とダイヤルしてください。

主な仕様

CDプレーヤー部

対応ファイル形式:　音楽CD、MP3、WMA

チューナー部

受信周波数 FM:　76.0 MHz ～ 90.0 MHz

Bluetooth部

規格:　Bluetooth Ver. 2.1 + EDR
送信出力:　Class 2
最大通信距離:　見通し距離約10 m
（使用環境によって異なります）
使用周波数帯域:　2.4 GHz帯
対応Bluetoothプロファイル:　A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

共通部

スピーカー
- フルレンジ:　8 cm (コーンスピーカー × 2)、16 Ω
- スーパーウーハー:　13 cm (コーンスピーカー × 2)、7 Ω

実用最大出力:　20 W + 20 W
(JEITA*/AC)

入力端子
- USB MEMORY
  対応ファイル形式:　MP3、WMA
  仕様:　USB2.0フルスピード規格対応
  対応機器:　USBマスストレージクラス機器
  ファイルシステム:　FAT16、FAT32
  出力:　DC5 V ⎓ 500 mA
- iPod部
  出力:　DC5 V ⎓ 1 A
  ビデオ出力:　コンポジット
  接続方式:　デジタル
- AUDIO IN:　LEVEL 1 500 mV/47 kΩ
  LEVEL 2 250 mV/47 kΩ
  LEVEL 3 125 mV/47 kΩ
- MIC/GUITAR
  入力インピーダンス/適合インピーダンス
  MIC:　600 Ω/200 Ω ～ 2 kΩ
  GUITAR:　135 kΩ/100 kΩ ～ 1 MΩ
  定格入力/最大入力
  MIC:　3 mV/50 mV
  GUITAR:　80 mV/500 mV
- DC IN:　DC 12 V、2 A

出力端子:　PHONES（ステレオミニ×1）

電源
- AC: AC 100 V、50 Hz/60 Hz
- DC: DC 15 V(単1形乾電池×10本使用)
  外部DC12 V電源

消費電力
- AC電源使用時: 電源「入」時 28 W
  電源「切」時 0.50 W以下
- 外部DC12 V電源使用時: 2 A

最大外形寸法: 幅 666 mm × 高さ 235 mm × 奥行き 240 mm
質量: 約 7.2 kg (電池なし)

電池持続時間

使用電池	CD再生時
単1形マンガン電池	約10時間(JEITA*)

- 周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- *はJEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。